

## こんげつ にほんご えいが 今月の日本語 映画

これは 2000年 11月に 韓国SBSラジオで 放送された 日本語講座のテキストと

( 韓国の東洋文庫より出版 ) とほぼ同じです。放送用ですので 様々なレベルの学習者

のために作られています。ここでは 程度を 初級用、中級用、上級用

で表しましたので、自分のレベルを 考えて勉強することができます。また 会話、

文型練習、聴解問題には 音声を付けました。今月は 日本の映画について学びます。

### もくじ 目次

- 1 ぶんけい  
文型
- 2 きほん かいわ  
基本会話
- 3 おうよう かいわ  
応用会話
- 4 ぶんぽう  
文法
- 5 ぶんけい ねんしゅう  
文型練習
- 6 どっかい もんだい  
読解問題
- 7 ちょうかい もんだい  
聴解問題
- 8 にほん えいが いま  
日本映画の今
- 9 にほん えいが れきし  
日本映画の歴史
- 10 こた ちょうかい ほんぶん  
答えと聴解本文

## おんせいよ あき のう つか かた 音声読み上げ機能の使い方

1 ご使用のパソコンに RealNetworks社の Real Player がインストールされているかどうかを確認します。

インストールされていない場合は、RealNetworks社のサイト

(<http://www.jp.real.com/>) から無償でダウンロードできます。

2 ページの青いフェースマーク「(^o^)」をクリックしてください。

## 2 映画

### 1 文型

1 日本の映画は見たことがないんです。

2 席が50しかありません。

3 あまり宣伝されないような映画

日本に来た以上何でも経験したい。

### 2 基本会話 (^o^)

木村 : 鄭さんはどんな映画が好きですか。

鄭 : 日本の映画は見たことがないんです。

木村 : じゃ、今度日本の映画を見に行きませんか。

鄭 : いいですね。何を見るんですか。

木村 : 雑誌で調べてみますよ。

鄭 : お願いします。

鄭は日本語では鄭と読みます。

1 鄭さんは日本の映画を見たことがありますか。

2 二人は何の映画を見ますか。

3 おうようかいわ  
応用会話 (^^)

きむら 木村 : こんな小さい映画館でびっくりしたでしょう。

でも 日本に来た以上何でも経験したほうがいいと思って...

ちよん 鄭 : そうなんです。

ここは席が50ぐらいしかないですが、もうかっているんですか。

きむら 木村 : 作品の選び方がいいのでいつも満員ですよ。

ちよん 鄭 : どんな映画をやっているんですか。

きむら 木村 : あまり宣伝されないような小さなプロダクションのものがあ多いです。

1 どんな映画館ですか。

2 どうしていつも満員ですか。

4 ぶんぽう  
文法

1 ~たことがある

かこふつうたい  
過去普通体 + ことがある

れい 例 納豆を食べたことがあります。

きょうと い  
京都に行ったことはありません。

ふじさん のぼ  
富士山に登ったことがない。

## 2 ~しか~ない

例 いま せん えん 今1000円もしか持っていない。

みず 水のしか飲まないだ い え っ とダイエットをしたらし死にますよ。

にほん 日本きに来ましたが、とうきょう 東京ししか知りません。

## 3 ~よう

例 せんせい 先生はかあお母さんひとのような人です。

ふゆ 冬ののに今日ははる春のようにあたた暖かいです。

ホンさんのお母さんはわか若くてお姉さんねえのようです。

以上

例 にほん 日本りゅうがくに留学した以上いじょうにほんご日本語がかえぺらぺらになるまで帰らない。

けっこん 結婚した以上いじょうかいしゃ会社をや辞めなければならないいと言うんですか。

しっぱい 失敗した以上いじょうせきにん責任をとらなければならない。

5 ぶんけいれんしゅう 文型練習 れい 例のように言いましょう。 (^o^)

1 かなだ カナダいに行った い ことがあります。

2 しごと 仕事おが終わらないので ざんぎょう 残業する い しかないです。

3 ささき 佐々木さんは せんせい 先生 ひと のような 人です。

5 <sup>どっかい</sup> 読解 <sup>ぶん</sup> 文を<sup>よ</sup>読んで<sup>しつもん</sup> 質問に<sup>こた</sup> 答えましょう。

<sup>きのう</sup> 昨日は<sup>つき</sup> 月に<sup>いちど</sup> 一度の<sup>えいが</sup> 映画<sup>ファン</sup> ファン<sup>かんしゃ</sup> 感謝<sup>デー</sup> デーでした。いつもは<sup>1800</sup> 1800<sup>えん</sup> 円の<sup>えいが</sup> 映画が<sup>1000</sup> 1000<sup>えん</sup> 円

<sup>み</sup> で<sup>み</sup> 見られるのです。そのことを<sup>し</sup> 知った<sup>いじょう</sup> 以上は<sup>ほか</sup> ほかの<sup>ひ</sup> 日に行く<sup>き</sup> 気にはなれません。<sup>えいがかん</sup> 映画館

<sup>なが</sup> は<sup>れつ</sup> 長い<sup>なが</sup> 列が<sup>でき</sup> できて<sup>いま</sup> いました。<sup>れ</sup> レ<sup>てい</sup> ティ<sup>す</sup> ス<sup>でい</sup> ディ<sup>い</sup> に<sup>い</sup> 行<sup>つたり</sup> ったり、<sup>ち</sup> チ<sup>けつ</sup> ケツ<sup>と</sup> と<sup>し</sup> シ<sup>ょ</sup> ヨ<sup>っ</sup> ッ<sup>ぶ</sup> ブ<sup>で</sup> で<sup>わ</sup> わ<sup>り</sup> リ<sup>び</sup> ビ<sup>き</sup> キ

<sup>けん</sup> 券<sup>か</sup> を<sup>か</sup> 買<sup>つたり</sup> ったり<sup>し</sup> し<sup>ゃ</sup> ャ<sup>かい</sup> カイ<sup>もう</sup> もう<sup>こ</sup> こ<sup>えい</sup> えい<sup>が</sup> が<sup>ず</sup> ゅ<sup>ひ</sup> ヒ<sup>と</sup> ト<sup>く</sup> ク<sup>ふう</sup> フウ<sup>えい</sup> えい<sup>が</sup> が<sup>み</sup> ミ<sup>て</sup> テ<sup>い</sup> イ<sup>る</sup> ル

そうです。( <sup>と</sup> 都<sup>どう</sup> 道<sup>ふ</sup> 府<sup>けん</sup> 県<sup>によ</sup> によって<sup>かん</sup> 感謝<sup>デー</sup> デー<sup>の</sup> の<sup>ひ</sup> 日、<sup>り</sup> 料<sup>きん</sup> 金<sup>な</sup> など<sup>ち</sup> ち<sup>が</sup> が<sup>ち</sup> 違<sup>う</sup> う )

1 <sup>きのう</sup> 昨日<sup>えい</sup> えい<sup>が</sup> が<sup>み</sup> ミ<sup>い</sup> イ<sup>る</sup> ル<sup>に</sup> に<sup>い</sup> 行<sup>き</sup> キ<sup>ま</sup> マ<sup>し</sup> シ<sup>た</sup> タ<sup>か</sup> か。

2 <sup>えい</sup> えい<sup>が</sup> が<sup>は</sup> は<sup>い</sup> い<sup>くら</sup> くら<sup>で</sup> で<sup>し</sup> シ<sup>た</sup> タ<sup>か</sup> か。

3 <sup>えい</sup> えい<sup>が</sup> が<sup>ず</sup> ゅ<sup>ひ</sup> ヒ<sup>と</sup> ト<sup>く</sup> ク<sup>ふう</sup> フウ<sup>を</sup> を<sup>し</sup> シ<sup>て</sup> テ<sup>い</sup> イ<sup>ま</sup> マ<sup>す</sup> ス<sup>か</sup> か。

6 <sup>ちょう</sup> 聴<sup>かい</sup> カイ<sup>き</sup> キ<sup>を</sup> を<sup>し</sup> シ<sup>つ</sup> ツ<sup>もん</sup> モン<sup>こ</sup> コ<sup>た</sup> タ<sup>に</sup> に<sup>こ</sup> コ<sup>た</sup> タ<sup>え</sup> エ<sup>ま</sup> マ<sup>し</sup> シ<sup>ま</sup> シ<sup>ょう</sup> ョウ。 (^o^)

1 <sup>お</sup> ア<sup>り</sup> リ<sup>さ</sup> サ<sup>ん</sup> ン<sup>は</sup> は<sup>お</sup> お<sup>んな</sup> んな<sup>で</sup> で<sup>す</sup> ス<sup>か</sup> か。

2 <sup>お</sup> 男<sup>と</sup> と<sup>の</sup> の<sup>ひ</sup> ヒ<sup>は</sup> は<sup>なん</sup> なん<sup>い</sup> い<sup>と</sup> と<sup>い</sup> イ<sup>え</sup> エ<sup>ば</sup> バ<sup>よ</sup> ヨ<sup>か</sup> カ<sup>っ</sup> ッ<sup>た</sup> タ<sup>で</sup> で<sup>す</sup> ス<sup>か</sup> か。

## 7 日本映画の今

日本の映画界は輸入市場である。つぎつぎハリウッド映画が上映され人気を博している。その中で唯一世界市場に輸出され人気を維持しているのがアニメ映画だ。日本のアニメ作成技術は進んでいてディズニーのアニメも実は日本で作られている。その技術に支えられ、宮崎駿監督の「風の谷のナウシカ」「魔女の宅急便」「となりのトトロ」「もののけ姫」など良質のアニメが世界中で上映されている。半面暴力シーンが批判的となっているアニメも多い。その中でも「ポケモン」人気は格別である。ポケモンのストーリーは世界中の親たちに受け入れられやすい。たくましいポケモンからかわいいポケモンまでいろいろな種類があるので男女に関係なく誰もが自分の好みのポケモンを見つけることができる。一番人気のピカチュウの色にも注目したい。黄色は欧米人にも人気がある色だ。またアニメだけでなく、ゲームやカードなどを組み合わせることにより、人気の持続がはかられている。

## 日本映画の歴史

日本の映画界は1950年代後半から60年代前半に全盛期を迎えた。映画館は全国に約7450館(60年)、入場者は約11億2700万人(58年)を記録したが、現在はテレビなどの影響で映画館は約1900館と最盛期の約4分の1、入場者は1億5300万人と10分の1近くまで落ち込んでいる。「太陽の季節」でデビューし、一躍人気を得た石原裕次郎は、当時の代表的な映画スターの一人だった。作家で現在東京都知事の石原慎太郎は裕次郎の兄である。日本映画を国際舞台に押し上げたのは黒沢明監督だと言われる。その黒沢作品で主役を演じたのが三船敏郎だった。「羅生門」や「七人の侍」、それに「用心棒」シリーズなどで黒沢-三船コンビは世界にその名を知られるようになった。黒沢映画は豪快でスケールの大きなものが多かったが、小津安二郎監督は家庭と家族を静かに見つめる作品で、国際的にも高い評価を得た。原節子が出演した「東京物語」「秋日和」などは、小津監督だけでなく原節子の代表作とも言われている。そのほか監督では木下恵介、溝口健二らベテランが、俳優では高峰秀子やわかあやこらが活躍した。60年代以降に活躍したのが大島渚、今村昌平監督らだった。大島作品では歌手のデビッド・ボウイーが出演した「戦場のメリークリスマス」や大胆な性描写で知られる「愛のコーリダ」など話題作が多い。今村作品は「楢山節考」と「うなぎ」でカンヌ映画祭グランプリを2度受賞した。70年代から80年代は、ヤクザ映画に出演した高倉健や菅原文太らが有名になった。また「男はつらいよ・寅さん」シリーズが始まり、渥美清と山田洋次監督の長いコンビが続いた。最近ではほかの分野で活躍した人が映画監督になって優れた作品を生み出すようになってきた。その代表的な一人がきたのたけしかんとく。テレビのバラエティー番組に出ている「ビートたけし」その人である。「その男、凶暴につき」「あの夏、いちばん静かな海」などの作品で注目され、「HANA-BI」で国際的な評価を得た。

## こた 答え

### きほんかいわ 基本会話

- 1 いいえ、ありません。
- 2 まだ決めていません。

### おうようかいわ 応用会話

- 1 ちい 小さい映画館です。  
えいがかん
- 2 さくひん 作品の選び方がいからです。  
えら かた

### ぶんけいれんしゅう 句型練習

- 1 かなだ に行きます かなだ に行った ことがあります。  
だいえっと します だいえっと した  
さけ の 酒を飲みます さけ の 酒を飲んだ  
にほん えいが み 日本映画を見ます にほん えいが み 日本映画を見た
- 2 ざんぎょう 残業します しごと お 仕事が終わらないので ざんぎょう 残業する しかありません。  
てつだ 手伝います てつだ 手伝う  
にちようび はたら 日曜日に働きます にちようび はたら 日曜日に働く  
おん さんに たの 頼みます おん さんに たの 頼む

3 先生 佐々木さんは 先生 のような 人です。

お父さん お父さん

子供 子供

かみさま 神様 神様

### どっかい 読解

1 えいが ぶん かんしゃで  
映画ファン感謝デーだったからです。

2 1000えん  
1000円でした。

3 れでい すでい い いくとか ちけつと しょっぷで わりびけん か ししゃかい もう こ  
レディースデーに行くとかチケットショップで割引券を買うとか試写会に申し込  
んだりしています。

### ちょうかい 聴解

おとこ  
男：アリさんは女のようにですね。

おんな  
女：えっ、アリさんは男だったんですか。

おとこ  
男：女ですよ。とっても女のようです。

おんな  
女：こんな時は女らしいと言うのよ。

1 はい。

2 「アリさんは女らしい」です。